



# これは何の木の どんぐり？

どんぐりとは、ブナ科の果実の俗称です\*。日本に自生するどんぐりの木は、23種1亜種4変種とされ、コナラ・クリ・マテバシイ・シイ・ブナの5グループ(属)に分けられます。拾ったどんぐりは何の木のどんぐりかな？

\*クリ・ブナ・イヌブナを含まないこともある。



きたおかあきひこ  
**北岡明彦**  
自然観察指導員

日本列島の天然林は「どんぐりの木」の王国です。森の概要をつかむためには、どんぐりの木を知ることが大切です。

亜熱帯から暖温帯にかけての天然林の高木層は、大部分をどんぐりの木が占めています。奄美以南の山地ではオキナワジイ(スダジイの亜種)とオキナワウラジロガシがよく茂っています。九州から、日本海側はおおよそ北陸以南の平地、太平洋側はおおよそ宮城県以南の平地では常緑樹のカシ類とシイ類が多く、それより寒い地域では夏緑樹のミズナラやブナ類がよくみられます。二次林では、コナラ・アベマキ・クヌギが優占する森林が多くみられます。

## どんぐりの落ちる順番を観察してみよう。

秋になると次々にどんぐりは木から落ちますが、その順番は地域ごとにおおむね決まっています。例えば愛知県西部では、モンゴリナラ(フモトミズナラ)↓アベマキ↓コナラ↓カシ類↓シイ類の順に落下します。この時間差のおかげで、種子の運搬者であるネズミやカケスなどの野鳥にまんべんなく食べて運んでもらうことのできるのです。最後においしいシイ類が落下します。

ところで、どんぐりを生で食べたことがありますか？ ブナの実はクルミとピーナッツを足して2で割ったような味で超美味！シイ類は生でも食べられますが、炒ると香ばしくおいしくなります。多くのナラ類・カシ類はタンニンをたくさん含みえぐくて生で食べられません。でも、水にさらしたり、加熱したりしてあく抜きすれば、食べられるようになります。縄文時代の遺跡からは食用どんぐりの貯蔵遺構が発見されているほか、韓国では現在もナラ類の粉を豆腐状に固めた「トトリ・ムク」という料理が食べられています。

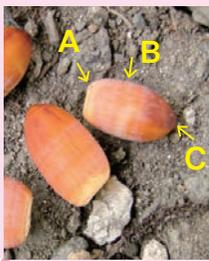
## 動物も大好きなどんぐり

人以外にも多くの動物がどんぐりを食べます。一番よく見るのが、どんぐりから小さな穴を開けて出てくるウジムシのような幼虫です。これはシギゾウムシの仲間で、昔から釣りの餌に使います。

また、シイ類の実には、樹上でムササビが好んで食べ、地上に落ちるとネズミやカケスなどが食べます。ミズナラやブナの実には、ツキノワグマの主要な食料で、これらの実が不作の年は人里に降りてくるクマが多くなります。どんぐりの森は多くの動物の生命をはぐくんできています。

## クイズ

どんぐりの芽と根はどこから出てくるでしょう？



## どんぐりから白い幼虫が！

## その正体は？



オキナワウラジロガシから出てきたシギゾウムシの幼虫



ハイイロチョッキリ

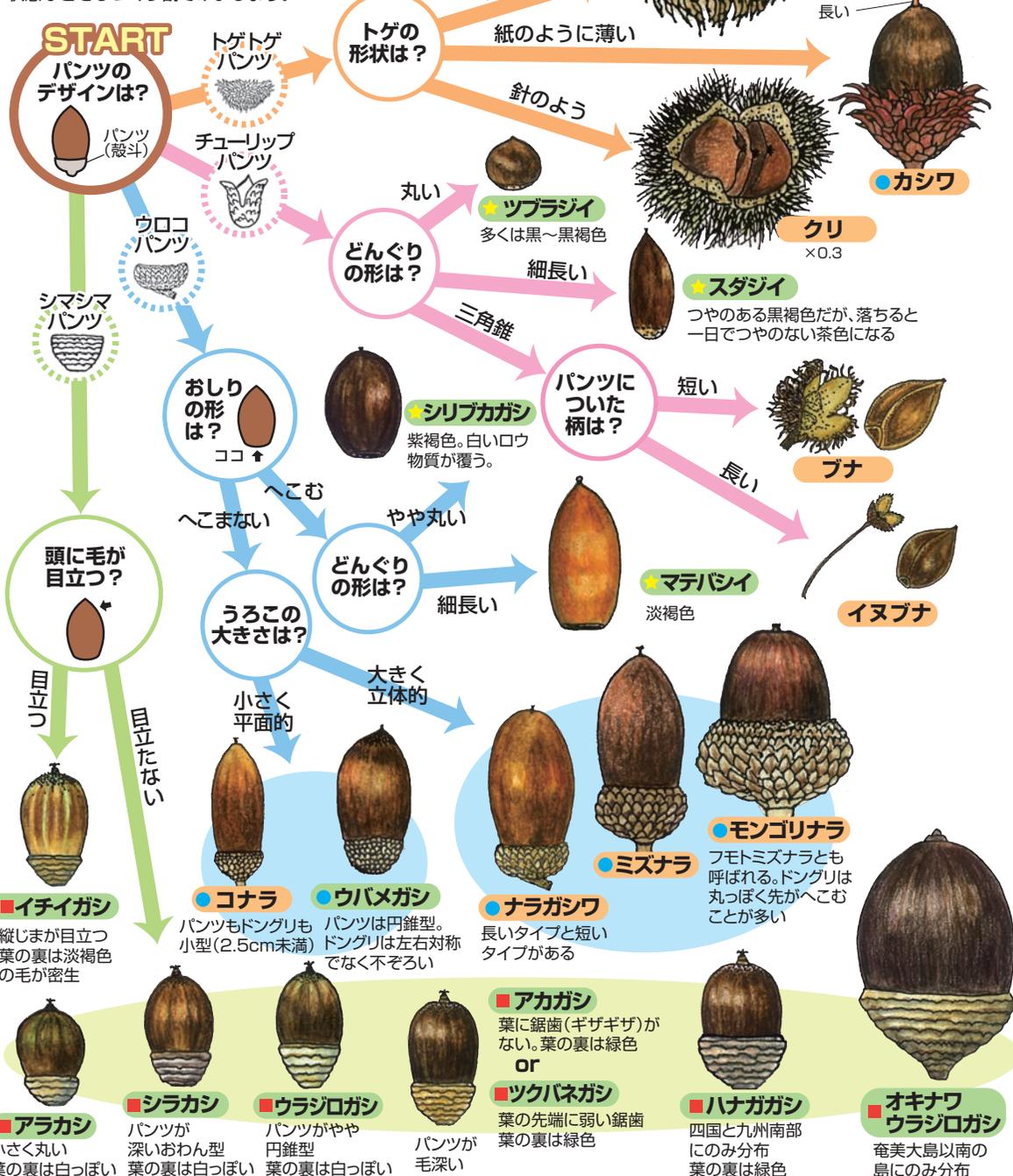


シギゾウムシの仲間

ハイイロチョッキリは、シギゾウムシの仲間(コナラシギゾウムシ、クリシギゾウムシ、クヌギシギゾウムシなど)より先にどんぐりに卵を産んだ後、小枝ごと切り落とすので、シギゾウムシが同じ実に産卵してしまうことはありません。シギゾウムシは産卵した後、どんぐりをそのままにします。枝がついているどんぐりから白い幼虫が出てきたらハイイロチョッキリ、枝がついてなければシギゾウムシの幼虫です。

# どんぐり 検索表

どんぐりを調べるには、堅果（けんか／どんぐり本体）と殻斗（かくと／パンツ、ハカマ、帽子とも呼ばれる）両方が必要です。まずパンツの形を4種類に分け、さらにパンツの深さ、模様、毛の状態などをじっくり観てみましょう。



## 日本自然保護協会会員募集中!

お問い合わせはTEL: 03-3553-4101 Eメール: nature@nacsj.or.jp  
このページは、筆者の方に教育用のコピー配布をご了解いただいております(商用利用不可)。http://www.nacsj.or.jp/katsudo/kansatsu/ からPDFファイルがダウンロードできます。自然観察会などでご利用ください。



本コーナーは、エプソン純正カートリッジ引取回収サービスを利用されたお客様のポイント寄付によるご支援をいただいております。